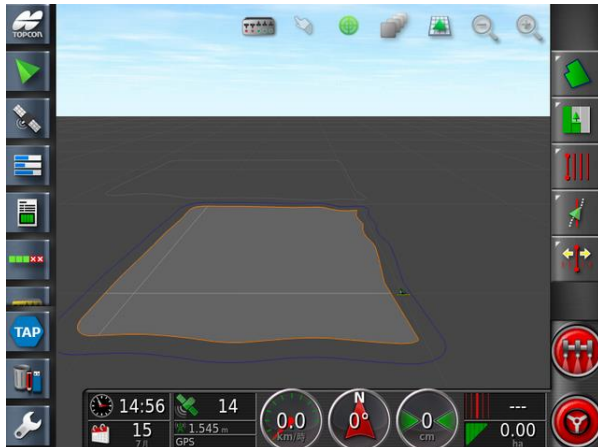
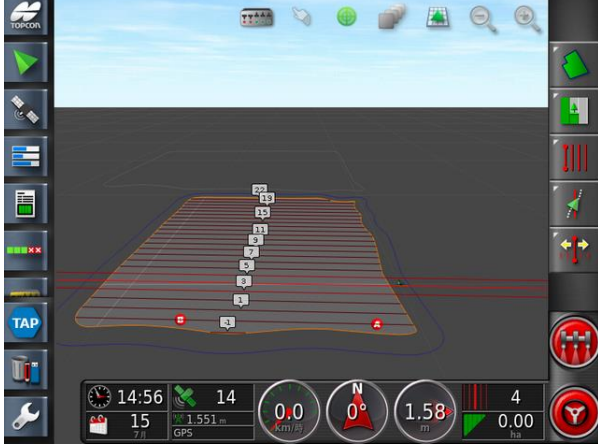



HORIZON5 タスクデータの考え方

HORIZON5.01.xx では「タスク」という概念が導入されました。これは ISO 11783-10 で定義された TASKDATA に準拠するためになります。HORIZON の使い方に関して基本的な変更はありませんが、データが作成される上で HORIZON4 と HORIZON5 の概念がどのようにことなるのか説明します。

1. HORIZON4 のデータの概念

以下のようにフィールドが主人公としてデータは作成されていきます。

<p>1</p>		<p>どのフィールドで</p>
<p>2</p>		<p>どのようなガイドラインを使用して</p>
<p>3</p>		<p>どのような作業をしたか。</p>

2. HORIZON5 のデータの概念

以下のようにタスク（作業）が主人公としてデータは作成されていきます。

1		どのような作業（タスク）を
2		どのようなガイドラインを使用して
3		どこのフィールドで実施したか。

データはすべてタスク（作業）を基本として作成させていただきます。

フィールドやガイドラインはタスクボタンによる記録に関係無く作成することができます。

タスク（作業）をデータとして記録する時に、自動的に関係するフィールドやガイドラインがタスクに関連付けられて保存されるようになっています。